

未来につながる持続可能なまちを目指して

高島を未来の
子どもたちへ
つなぐために！



合併時に5万3000人余りだった高島市の人口は、今や4万7000人まで減少しています。人口減少への対応は、私たちの高島市を将来にわたって持続させるために避けて通れない大きな課題です。「子どもが減ったなあ」「活気がなくなったなあ」多くの人が感じている、この状況を変えなければなりません。IT技術の進展、デジタル社会の到来によってさまざまな仕事が地方でも都市部と同じように行えるようになってきました。また、このコロナ禍によって、働き方、価値観、生活様式などに大きな変化があり、豊かな自然の中でプライベートと仕事を両立する心の充実した暮らしが求められ始めています。これは私たちの高島市にとって大きなチャンスです。IT専門家としてのキャリアを生かし、高島市の未来を切り開き、次の世代へつなぐため、そして、住みやすい社会を実現するため、全力で取り組んでまいります。

高島市議会議員

早川 ひろのり

子育てと仕事を 両立できる少子化対策を

安心して出産、子育てができる環境を築くためには、男性の育休取得の推進や働くひとり親への支援など仕事との両立を行うためのさまざまな施策が欠かせません。産後うつ対策など、心の負担を軽減させるケアの体制も含め子育て世代を全力でサポートします。

観光客を始めとした 交流人口の拡大を

高島市の大きな魅力である自然を生かした観光。市内の観光地をネットワーク化して誘客を促進することや、ピワイチ・プラスなど自転車を活用した観光誘客、安曇川や近江今津駅周辺地の活性化など、高島の魅力をアップさせる取り組みを行います。

新環境センター、 現施設の改修で

昨今の異常気象による災害の大規模化が懸念されます。朽木宮前坊に計画された新環境センターは、周辺や安曇川下流域の水害リスクが高いことから反対とし、白紙撤回となりました。

現行の環境センターを改修、設備を入れ替えることにより、低コストで安全な施設が実現できると考えます。

公共交通の 維持と向上を

高齢者が免許を返納したとしても、通院や買い物ができるなど、移動手段の確保は重要です。

また、災害時の避難・救助等、緊急輸送道路の複層の維持向上は優先的に取り組むべき課題です。利用する側の利便性、そして運行する側の安全性の向上を目指すべきという視点で取り組みます。

IT環境の充実と 仕事の創出を

IT専門家としての経験を生かし、新しい社会に必要な高速ネットワーク、市内のWi-Fi環境の充実などの実現を目指すとともに、それらITを生かした新たなビジネスと雇用の創出、移住の促進に取り組みます。



高島を未来の子どもたちへ つなぐために！ 未来につながる持続可能なまちを目指して

1. 少子化対策の充実

子育てと仕事を両立できるように

- テレワークなど柔軟な働き方の実現に向けた支援
- 不妊・不育治療の助成拡充
- 結婚を望む方に対する縁結びサポートの充実

2. 働く場所と仕事の確保

若者が定住し、安心して働けるように

- 京阪神まで安心して通勤できる利便性の向上
(JR 湖西線、161 バイパス、303 号)
- ICT 等を活用した新たなビジネス創出、起業しやすい環境整備
- 安心して住み続けるための公共交通による利便性の維持向上

3. 交流人口の拡大

多くの人が訪れ、笑顔になるように

- 市内観光地のネットワーク化による相乗効果の発揮
- ビワイチ等の自転車を活用した観光誘客の促進、健康寿命の延伸
- 北陸新幹線敦賀延伸をみすえた安曇川駅前、近江今津駅前の活性化
- 今津上地域への道の駅の設置による誘客と地域活性化

4. 信頼できる地域医療と介護福祉

元気で健康に暮らせるように

- 安心して利用できる地域医療の維持
- 住み慣れた地域で生活し、看取りを迎えられる地域社会の実現

プラス +1 新しい技術や発想の導入

コロナ後の社会をみすえて

- IT を活用した新しい働き方の支援と環境の整備
- デジタル時代を生きる子どもたちへの教育環境の充実
(図書館 6 館の維持など)
- 環境に負担の少ない安全安心な
新環境センターの建設



ひろのり 早川浩徳 プロフィール

生年月日 昭和49年2月2日生
家族 妻・父・長女(小4)・長男(小1)
趣味 ロードバイク・カメラ・パソコン
信条 「意志あるところに道は開ける」

<学歴>

平成元年 滋賀県高島郡今津町立今津中学校 卒業
平成4年 滋賀県立高島高等学校 普通科 卒業
平成10年 明治大学農学部農芸化学科 卒業
平成12年 明治大学大学院農学研究科農芸化学専攻博士前期課程 修了
平成15年 東京農工大学大学院工学研究科生命工学専攻博士後期課程 中退

<略歴>

平成15年～平成19年 株式会社 デーコム 技術本部
平成19年～平成25年 株式会社 京装コンピューター システム運用事業部
平成25年～ AVXジャパン株式会社 (旧ニチコンタタル)
平成29年 高島市議会議員初当選
令和2年現在 高島市議会議員(現職)
議会改革推進会議 副委員長(現職)
文教福祉常任委員会(現職)

<役歴>

平成27年～平成28年 今津上地区代表体育委員(今津地域体育振興会理事)
平成26年～ 高島市消防団今津第1分団第5班 班員(現役)
平成29年～平成30年 愛隣こども園保護者会長
平成30年～ 高島川端会 幹事長(現役)
平成30年～ 今津地域スポーツ振興会理事(現役)
平成31年～令和2年 高島市立今津東小学校PTA会長
令和2年～ 明治大学校友会滋賀県支部 幹事(現役)
令和2年～ 国民民主党滋賀県総支部連合会 副幹事長

◆ 一般質問などで取り上げ、4年間で実現したこと

◆ 就学「前」援助に！

就学援助費の支給時期が、事後の7月から就学「前」の3月に前倒しされました。必要な時に支給されるよう、議会の決議を取りまとめました。

◆ 303号整備推進

宮西区の整備を追加するよう働きかけ整備計画に反映されました。

◆ ビワイチ観光誘客の推進

安全に走行できるように道路の補修やマップの整備を提案しました。

◆ 「高島リビング・シフト構想」が作成されます

人口減少社会に加え、コロナ禍における新しい生活や働き方などから、地方の価値が見直される機会をチャンスと捉え、豊かな自然環境とITを活かしたまちづくり構想を提案しました。